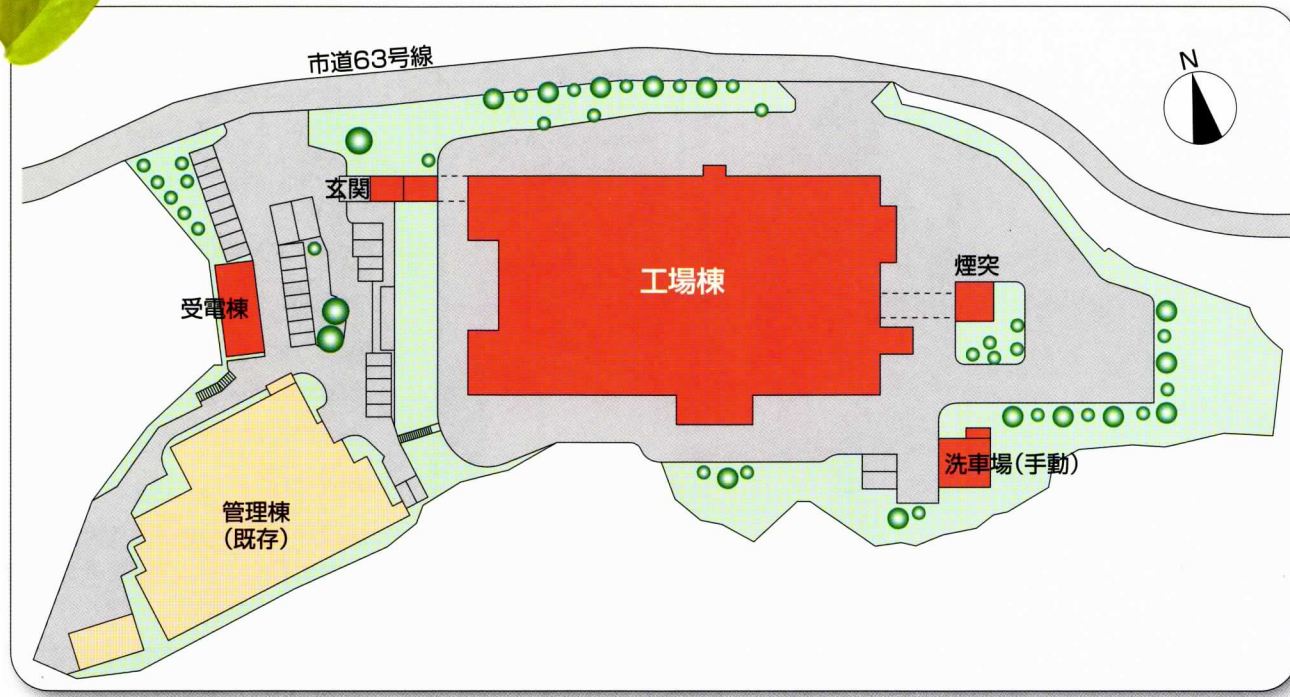


## 敷地配置図



## 工事工程



※試運転については、平成24年8月から予定。

発注者

**秦野市伊勢原市環境衛生組合**

〒257-0031 秦野市曾屋4624番地 TEL 0463-82-2500

工事施工監理

**財団法人 日本環境衛生センター**

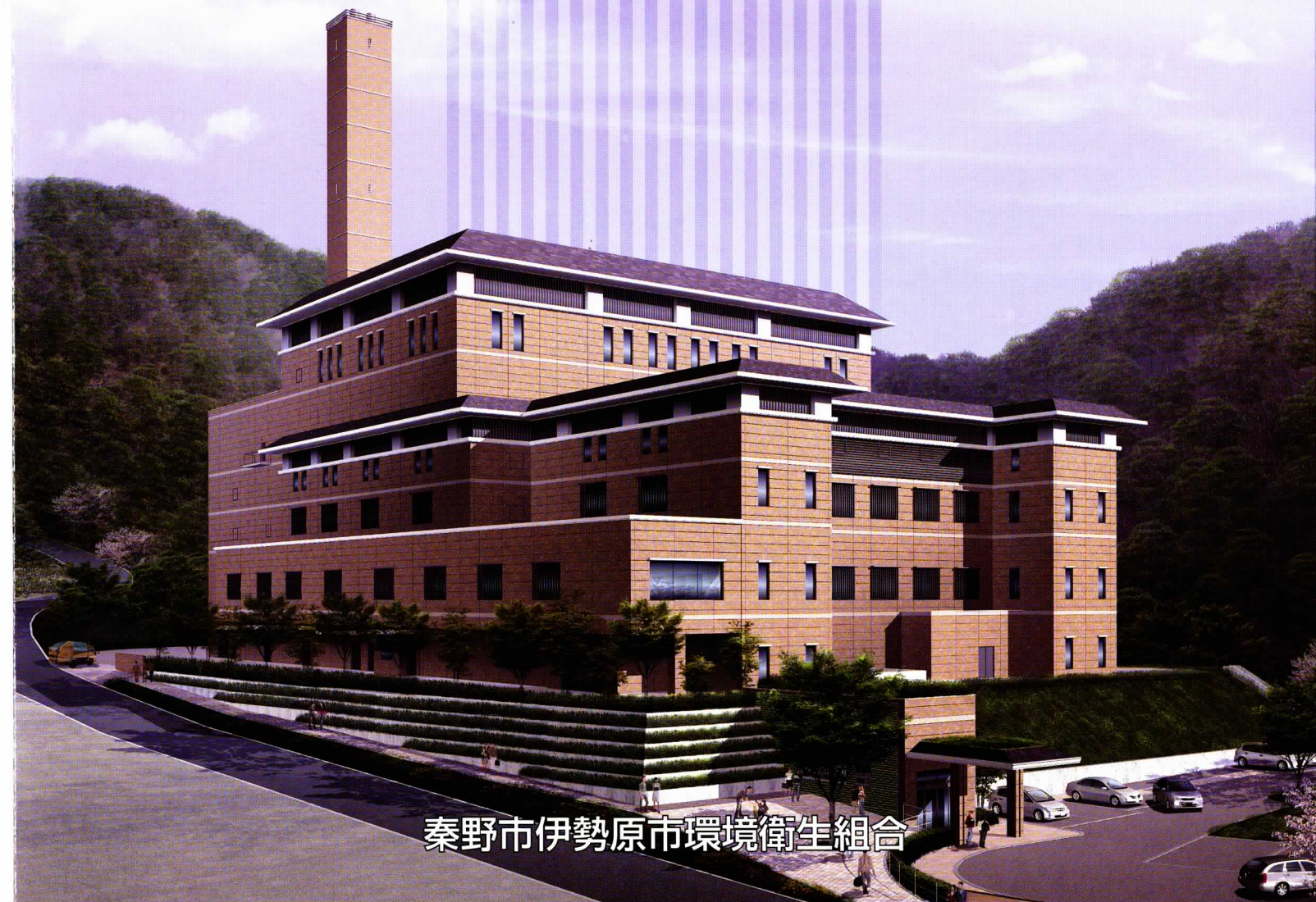
設計・施工

**Hitz** 日立造船株式会社  
Hitachi Zosen

人と環境に優しい安心、安全な施設づくり

# クリーンセンター

● 工事概要 ●



秦野市伊勢原市環境衛生組合



# クリーンセンターの あらまし

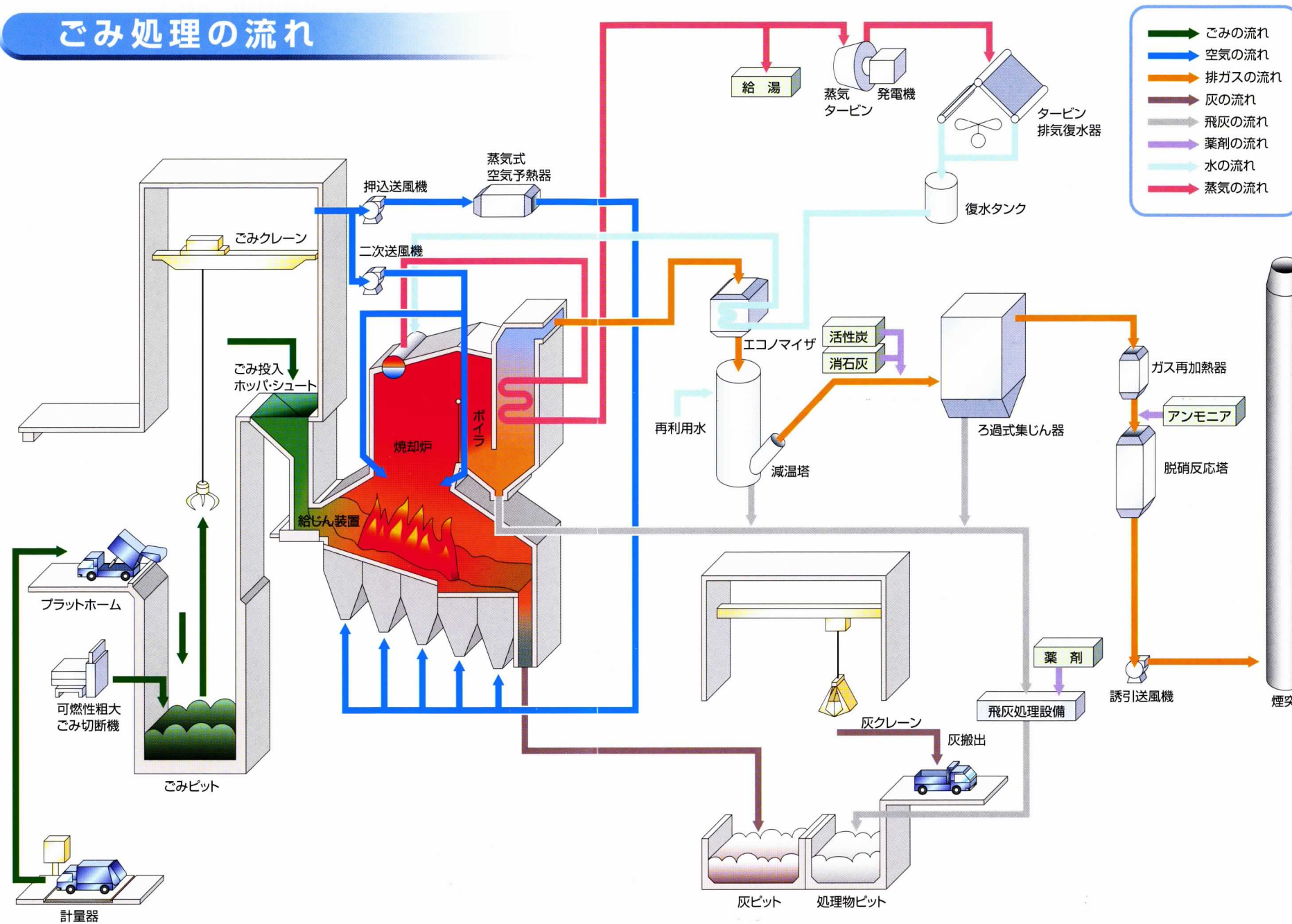
## 施設概要

工事名称：クリーンセンター建設工事(熱回収施設)  
 建設場所：秦野市曾屋4624番地  
 工期：平成22年2月～平成25年1月  
 処理方式：ストーカ式焼却炉  
 処理能力：焼却炉 200t/日(100t/日×2炉)

## 設備概要

受入れ・供給設備：ピット&クレーン方式  
 燃焼設備：全連続燃焼式ストーカ式焼却炉  
 燃焼ガス冷却設備：全ボイラ方式  
 排ガス処理設備：ろ過式集じん器+消石灰、活性炭  
 吹込み+触媒脱硝設備  
 余熱利用設備：蒸気タービン発電(3,820kW)、  
 給湯  
 通風設備：平衡通風方式、煙突(80m)  
 灰出し設備：薬剤混練処理  
 給水設備：上水、井水  
 排水処理設備：プラント排水/凝集沈殿+ろ過処理  
 +場内再利用  
 生活排水/下水道放流  
 電気設備：特別高圧受電(66kV 2回線)  
 計装設備：集中管理方式

## ごみ処理の流れ



### ごみピット・ごみクレーン

収集・搬入されたごみはごみピットに貯留します。ごみはよく燃えるようにクレーンで混ぜたりほぐしたりします。

### 焼却炉

運びこまれたごみを850℃以上の高温で燃やします。

### ボイラ

焼却炉で発生した高温燃焼ガスを冷却するとともに、回収した熱で蒸気を発生させます。

### ろ過式集じん器

排ガス中のばいじんや重金属、ダイオキシン類はろ過式集じん器で取り除かれます。

### 脱硝反応塔

排ガス中の窒素酸化物やダイオキシン類を薬品と触媒の働きで分解します。

### 灰ピット・灰クレーン

焼却灰は灰ピットに貯留したのち、灰クレーンでトラックに積み込みます。

### ごみの流れ

収集したごみは計量したのち、プラットフォームからごみピットへ投入します。ごみピットのごみは、ごみクレーンにより焼却炉へ供給します。ごみは焼却炉で完全燃焼し、発生する灰は灰ピットに一時的に貯留したのち、灰クレーンでトラックに積み込み、民間の資源化施設へ送ります。

### 排ガスの流れ

焼却炉で発生した高温排ガスは、ボイラで熱を回収したのち減温塔でさらに冷却し、ろ過式集じん器や脱硝反応塔でダイオキシン類などの有害ガスの除去を行い、清浄ガスとして煙突から排出します。

### 蒸気の流れ

ボイラでは、高温排ガスから回収した熱で蒸気を発生させます。発生した蒸気は蒸気タービンで発電に利用する他に給湯用熱源として利用します。蒸気タービンで利用したのちの低温蒸気は、タービン排気復水器で冷やして水に戻し、循環再利用します。

## 工事中の安全対策、環境保全対策

### 安全対策

建設敷地の周囲には高さ3mの仮囲いを設け、工事中の安全を確保します。また仮囲いは道路側敷地境界からセットバックさせることで歩行者の通路を確保します。車両出入口には常駐警備員を配置し、歩行者及び通行車両の安全を確保します。工事車両の運行ルートは県道71号線から市道63号線に入るルートのみとします。

### 騒音・振動対策

低騒音・低振動型の建設機械や工法を採用し、騒音・振動を出さないよう努めます。

### 粉じん対策

鋼板敷き、砕石敷きなどの対策と、清掃や散水などにより粉じんの飛散防止に努めます。

### その他

出入口付近に作業内容を掲示し、工事状況を公開します。また工事状況がわかるよう、仮囲いの一部に透明板を使用します。